

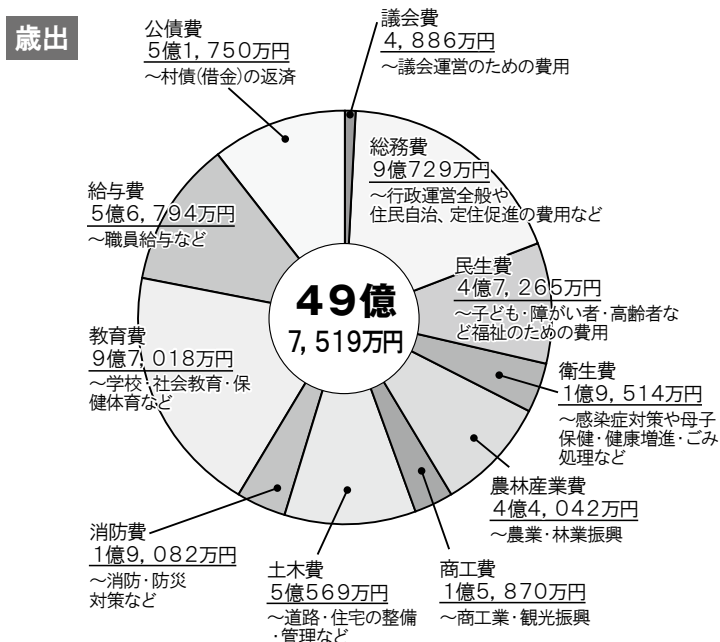
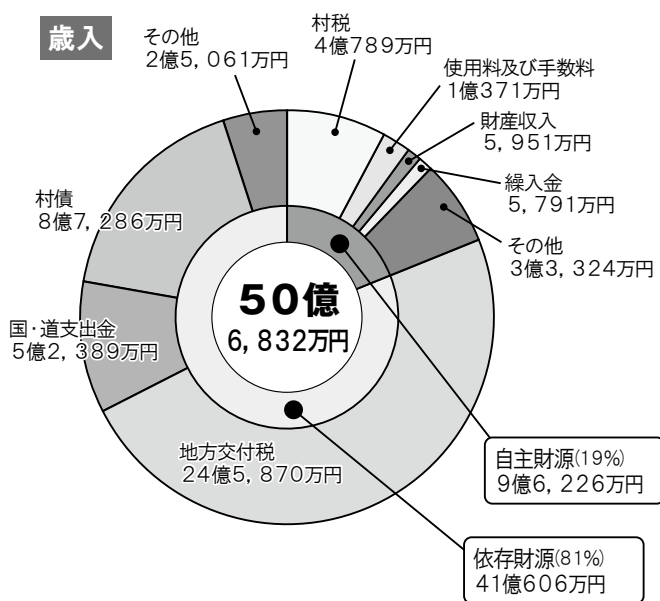
令和6年度 村の決算を報告します

令和6年度の決算が9月議会定例会で認定されました。

村が行うさまざまな事業は、みなさまが納める税金や国・道からの補助金などを財源に行っています。今回の特集では、令和6年度決算を振り返り、どれくらいの収入があり、どのような目的に活用されたのか、その概要をお知らせします。※金額は千円単位を四捨五入して万円単位で統一しています。

一般会計

歳入	歳出	翌年度へ	
50億6,832万円	49億7,519万円	241万円繰越	= 9,072万円の黒字
前年度比△8.6%	前年度比△8.8%		



【主な増減】

- 国・道支出金△1億6,446万円 (△23.9%)
…中学校改修事業補助金や国の臨時交付金の減など
- 繰入金△7,373万円 (△56.0%)
…酪農振興基金の取崩しの減など
- 村債 △3億8,966万円 (△30.9%)
…鶴居中学校大規模改修事業に対する借入の減など

【主な増減】

- 総務費 +9,349万円 (+11.5%)
…総合センター機能改善、分譲地造成事業の増など
- 農林産業費 △1億1,808万円 (△21.1%)
…飼料価格高騰対策、林道整備事業費の減など
- 教育費 △4億5,952万円 (△32.1%)
…鶴居中学校大規模改修事業の減

どのような性質の経費に支出したのか

人件費	職員給与・議員や委員の報酬など	7億2,198万円	14.5%
扶助費	医療給付費や障がい者への援助費など福祉のための経費	2億802万円	4.2%
公債費	村債(借金)の返済経費	5億1,750万円	10.4%
普通建設事業費	道路・学校など社会資本の整備にかかる経費	13億1,648万円	26.5%
物件費	公共施設の光熱水費、事務費や委託料、備品購入などの経費	8億2,524万円	16.6%
補助費等	各団体への補助金や負担金、保険料、謝礼金など	6億9,540万円	14.0%
繰出金	特別会計の収支不足額などを一般会計から補てんする経費	2億207万円	4.0%
その他	施設の維持補修費、基金の積立金などの経費	4億8,850万円	9.8%

村民一人あたりの決算額は 206万円 となります！

※R7.3.31 住基人口 2,409 人（以降同様） ※一般会計のみで算出

福祉サービスの提供 20万円	教育の充実 40万円	商工業・観光振興 7万円	農業・林業振興 18万円	消防・救急・防災活動 8万円
感染症対策・健康増進 2万円	ごみ・し尿の処理など 3万円	道路・公園・住宅の整備など 21万円	借入金返済 22万円	その他の村民サービスなど 65万円

一般会計における主な事業

● 鶴居中学校大規模改修事業（R5年度からの継続事業） 【決算額：[R5] 10億1,422万円、[R6] 5億5,578万円】

教育環境の整備を図るため、昭和54年に建築された鶴居中学校の増改築事業を実施。

※財源は返済額の7割が国から補てんされる財政的に有利な過疎債(借金)を活用しています。



● 市街東新分譲地、希の杜第2期分譲地整備事業 【決算額：6,473万円】

令和7年度から分譲を開始した、市街東新分譲地エリア周辺の道路整備、及び今後販売開始する下幌呂希の杜第2期分譲地造成の調査設計などを実施。

※財源は返済額の7割が国から補てんされる財政的に有利な過疎債(借金)等を活用しています。



● 運動広場木製遊具整備事業 【決算額：3,201万円】

運動広場の誘客促進や鶴居西地区における新たな遊び場づくりを図るため、遊具整備事業を実施。

※財源の一部は、道からの交付金や、森林環境譲与税を活用しています。



● 主なソフト事業

- ・「物価高騰対応クーポン券配布事業」
432万円（地域商品券の配布）
※その他1,553万円を令和7年度事業（R6繰越）として実施
- ・「物価高騰対策支援給付金事業」
2,131万円（住民税非課税・均等割のみ課税世帯等に対する給付金）
- ・「タンチョウ再発見100周年事業」
445万円（フォーラム・ツアー開催経費他）
- ・「釧路湿原観光コンテンツ創出協議会補助金」
169万円（国立公園エリアの有効活用を目的とした体制整備事業に対する村補助金）

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行うために、一般会計と分けて設けた会計です。

企業会計

企業会計は、事業を健全かつ安定的に運営するため、法令に基づき、事業の収入で費用をまかなう独立採算を原則に運営される会計です。

〔収益的収支〕：利用料金や維持管理など日常の営業活動に要する費用の収支

〔資本的収支〕：施設建設・改良費など将来への投資に要する費用の収支

※差引の不足額は企業会計適用前の特別会計からの引継金により補てんしています。

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
特別会計	国民健康保険	3億4,725万円	3億3,853万円	872万円
	村立診療所	3,769万円	3,769万円	万円
	介護保険	3億 842万円	2億7,448万円	3,394万円
	後期高齢者医療	5,016万円	4,989万円	27万円
	合 計	9億8,710万円	9億7,447万円	1,263万円

会計名及び区分		収入決算額	支出決算額	差引
簡易水道事業	収益的収支(税抜)	8,874万円	9,223万円	△349万円
	資本的収支(税込)	6,308万円	8,222万円	△1,914万円
農業集落排水事業	収益的収支(税抜)	7,484万円	7,698万円	△214万円
	資本的収支(税込)	1,692万円	2,245万円	△553万円
合 計	収益的収支	1億6,358万円	1億6,921万円	△563万円
	資本的収支	8,000万円	1億 467万円	△2,467万円

村の財政診断の結果は・・・財政状況は健全です！

令和6年度決算を基に、村の財政の健全度を示す財政4指標を算出すると、いずれの指標も健全な財政基準となっています。今後も効果的かつ効率的な財政運営に努めます。 ※ が村の数値です。

財政の健全度を示す4つの指標		健全 悪化	
		早期健全化判断基準 財政再生基準	
実質赤字比率 一般会計などの赤字割合	0%	15% イエローカード	20% レッドカード
連結実質赤字比率 全会計の赤字割合	0%	20% イエローカード	30% レッドカード
実質公債費比率 借金返済額の大きさを示す割合	6.5%	25%	35%
将来負担比率 村の財政規模に対して将来負担が見込まれる負債などの大きさを示す割合	0%	350%	

村の貯金（基金）と借金（村債）の状況は？

●貯金（基金）残高

73億7,980万円（前年比+2億9,216万円）
村民一人あたりに換算すると・・・約306万円

・ふるさと納税寄附金や歳計余剰金の積み立てをしたことから、前年度と比較して増加しました。

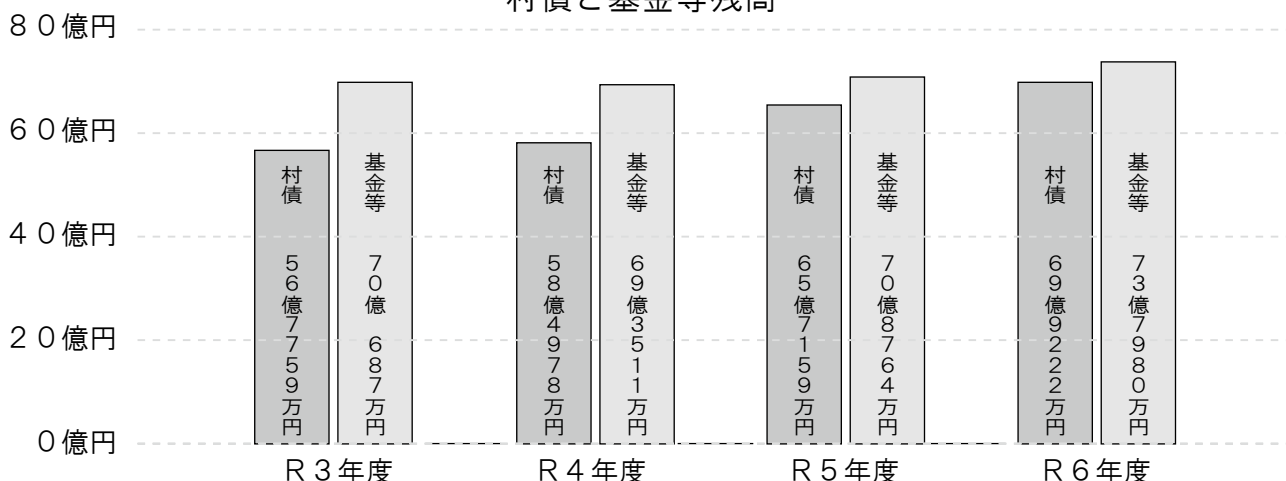
●借金（村債）残高

69億9,222万円（前年比+4億2,063万円）
村民一人あたりに換算すると・・・約290万円

・鶴居中学校大規模改修事業に対して4億2,500万円の大規模な借入れを行ったことから、前年度と比較して大幅に増加しました。

令和6年度末残高では **貯金が借金を3億8,758万円上回る** 状況となっています。

村債と基金等残高



令和6年度末村債残高	
一般会計	67億1,922万円
簡易水道事業会計	1億8,412万円
農業集落排水事業会計	8,888万円
計	69億9,222万円

令和6年度末基金等残高	
基金(全会計の17基金)	55億6,302万円
備荒資金組合基金	18億1,678万円
計	73億7,980万円